

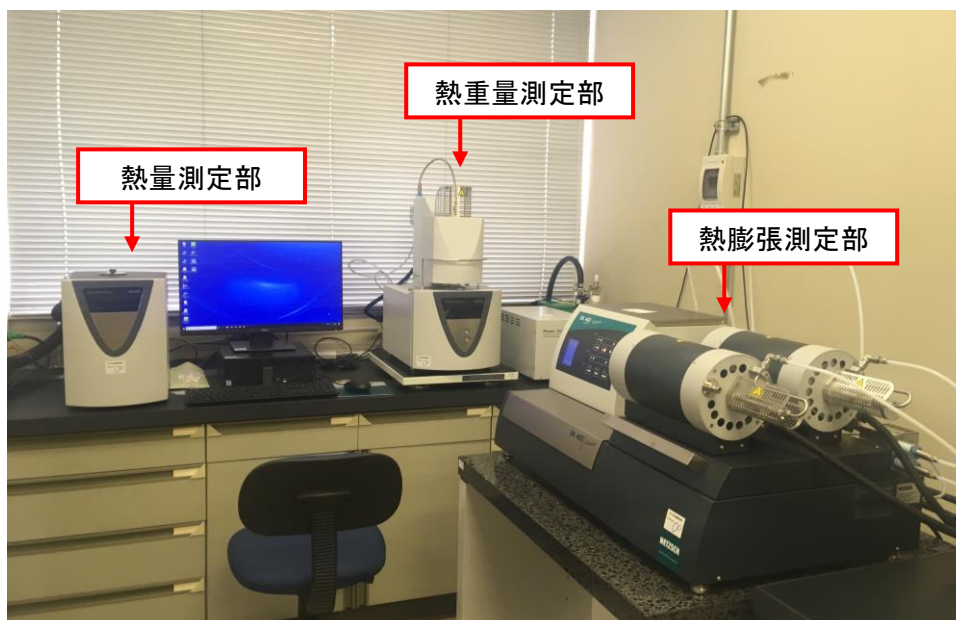
導入年度	R1 年度	設備名	高温型熱分析装置		
メーカー	ネッチ・ジャパン(株)	型式	DIL402 / STA2500 / DSC3500	設置室	開放試験室 (恒温)

令和元年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業(けいりんの補助金)

《 概要 》

本装置は、試料を加熱、冷却しながら試料の熱膨張率や、重量変化、吸発熱反応を測定する装置です。これらの結果から、セラミックスや金属材料の融点や分解温度、比熱容量などの解析ができます。

《 装置外観 》



《 仕様 》

- 1) 温度範囲 : 熱膨張測定部 $-150\sim 1650\text{ }^{\circ}\text{C}$, 熱重量測定部 室温 $\sim 1625\text{ }^{\circ}\text{C}$,
熱量測定部 $-50\sim 600\text{ }^{\circ}\text{C}$
- 2) 雰囲気 : 大気、窒素またはアルゴンフロー (熱膨張測定、熱重量測定は真空置換可能)
- 3) 分解能 : 熱膨張測定 1 nm , 熱重量測定 $0.03\text{ }\mu\text{g}$, 熱量測定 $0.2\text{ }\mu\text{W}$
- 4) 精度 : 比熱測定 $\pm 3\%$

《 用途例 》

- 熱膨張測定部 : セラミックス・金属材料の高温下使用における寸法変化の測定
- 熱重量測定部 : 無機原料粉末の仮焼における水分、炭酸などの脱離温度の測定
- 熱量測定部 : セラミックス・金属材料の比熱容量の測定

《 測定条件 》

- ・装置保守のため、上限温度または下限温度での試験をご希望の場合はご相談ください。
- ・標準的な試料形状は下記の通りです。下記以外の形状でも試験可能ですので、ご希望の場合はご相談ください。

熱膨張測定部 : 角柱または円柱 $\phi 6 \times 25$ mm

熱重量測定部 : 粉体 約 10 mg または 成形体 $\phi 4 \times 2$ mm

熱量測定部 : 粉体 約 10 mg または 成形体 $\phi 6 \times 1$ mm

